

通常総会が開催されました

虹の会は特定非営利活動（NPO）法人ですので、法令に則り年に一回、通常総会を開いております。通常総会とは、虹の会の趣旨に賛同してご協力いただいた正会員の皆さんに、昨年度の運営報告と今年度の活動の方針を説明し、ご意見をいただく場です。今年度の総会は、去る5月28日に開催され、委任状出席も含め50名の方にご参加いただき、各議案とも承認をいただきました。

今年度の活動方針としては、昨年度同様、「マンパワー増強のための取り組み」と「地域内での信頼獲得のための取り組み」の二つを引き続き最優先課題と位置づけました。また、今年度は新たに「中期経営計画の策定」にも着手します。中長期的視点に立った経営計画・事業計画の策定を通じて、組織力の更なる強化を目指し、誰にとっても住みよいまちづくりに微力ながら寄与できる運営を心がけてまいります。皆様のご理解・ご協力のほど、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

虹の家サポーター募集中!!

「虹の家」は十数年間、それまで通りの暮らしを続けたい方へのお手伝いをしてきました。

利用者同士も、昔からの知り合い、ご近所さんが多く、地域の暮らしそのままの雰囲気です。

「虹の家」はいろいろな方のサポートを受けながら運営されています。

法人の会員になって活動を支えてくれる方。

ふらりと立ち寄って利用者さんとおしゃべりを楽しむ方。

キーボードと歌で楽しませくれるミュージシャン。

折り紙や手芸で素敵な作品を作ってくれる方。

庭の草木や畑のお世話をしてくれる方。

趣味のカメラで写真を撮ってくれる方。

採れたての野菜の差し入れしてくれる方。

いろんな形でお手伝いしてくれるサポーターさん大歓迎です。

ぜひ、お気軽にご連絡ください!

☎ 04(7179)3133

✉ niji3215@ia1.itkeeper.ne.jp



虹の会 ニュース

第54号

2017. 8. 1

発行

編集発行 特定非営利活動法人 虹の会

〒270-1114 我孫子市新木野 3-32-15

(宅老所 虹の家 内)

☎ 04 (7179) 3133

✉ niji3215@ia1.itkeeper.ne.jp



新木のまちって・・・

虹の会 理事長 横山耕太

人口減少や少子高齢化の傾向は今後ますます強まり、近い将来、国民一人ずつが一人の高齢者を支えるというアンバランスな社会が到来すると予測されています。これを踏まえて、国では「施設から在宅へ」という目標のもと「地域包括ケアシステム」の構築を急いでいます。私ども虹の会も、新木地区において地域包括ケアの一翼を担えるよう、いまから力を蓄えていきたいと考えています。



「宅老所 虹の家」の運営は、通い・泊まり・訪問の3つのサービスを一つの事業所で柔軟に組み合わせることができるのが最大のセールスポイントですが、それだけでは地域包括ケアにはなりません。

人は誰しも、様々な人間関係の中で暮らしています。介護が必要になった人も同じです。施設に入所することで安全で快適な生活は保障されますが、それまでの人生で培ってきた人間関係が切れてしまうのはやはり残念なことです。ですから、私たちは、介護スタッフだけで支援を完結するのではなく、ご家族の協力、ご近所の皆さんの見守り、関係者の方のちょっとした気遣いなど、様々な方がそれぞれの立場から関わり続けてもらうことにこだわり、ご本人の在宅生活を支えてゆく実績を一つずつ積み重ねています。

ただいま定員いっぱいの方にご利用いただいているのも、虹の会の方針にご賛同いただいた皆様のご協力の賜物です。改めて御礼申し上げます。新規のご利用希望の方にはご利用開始まで少しお時間をいただいしまい、誠に申し訳ないのですが、それだけ、介護が必要になっても住み慣れた環境で暮らし続けたいというのが、みなさん共通の願いなのだと感じています。

「私も元気なうちは手伝うから何でも言ってよ!」「そのかわり、元気がなくなっても今の家で暮らしたいから、その時は頼むよ!」新木野を歩いていると、こんなふうに声を掛けてくださる方にたくさん出会います。新木のまちって、不便なところも多いけど、暮らし続ける価値のある素敵なまちなんだと思います。同じまちで暮らす者として、暮らし続けたいまちづくりをしてきた先輩方の営みに敬意を表すと同時に、まちの価値を更に高めるための活動に微力ながらも協力させていただければと考えています。



ご存知ですか? 「注文をまちがえる料理店」

◆先日、都内にて期間限定で開店した料理店。普通のレストランとの違いは、注文を取る係りの人が全員認知症の方だということ。だから、ハンバーグを頼んだのに餃子が出てくることもあるのだとか。◆この取り組み「おもしろい!」と捉えるか「けしからん!」と捉えるか、みなさんはいかがでしょう? 発起人の一人はこう言います「法律や制度を変えることももちろん大切だと思いますが、私たちがほんのちょっと寛容であることで解決する問題もたくさんあるのではないかと。間違えることを受け入れる、間違えることを一緒に楽しむ。そんな新しい価値観をこの不思議なレストランから発信できればと思います」◆認知症の人が輝ける舞台があり、周りの人の寛容さがそれを支える。ちょっと不便だけど、居心地の良い空間。次は9月に開催予定だそうです。虹の会もこの素敵な取り組みを、引き続き注目してゆきたいと思っています。



〇月△日 お別れがありました・・・

100歳のMさんと、94歳のTさんのご夫妻は、仲良くお二人で週2日虹の家へ通われて入浴と昼食をされていました。

ところが、Tさんが怪我で長期入院となり、退院後も思うように回復せず、私たちの支援も、通いから自宅への訪問支援に切り替えました。

しかし、残念ながら衰弱が進み、ベッドの上で起き上がることも少なくなっていました。

虹の家では美容師資格を持つスタッフがいて、ずっと前からTさんの髪を整えていました。今回はTさんのご自宅でヘアカットをすることになりました。家に何うと、Tさんは、ベッドから出て車いすに座られ、髪をキレイに整えさせてくれました。

そして、2日後の早朝、いつも私たちに見せてくれていた、優しい笑顔のまま最後の眠りにつかれました。悲しい、寂しい知らせではありましたが、長い入院生活で整えることができなかった髪をキレイに整えてから旅立たせてあげられてよかった。

私たちに、そんなとりとめのない、小さな満足感のような思いが湧いてきました。長いお付き合いがくれたご褒美だったような気がしています。Tさん、ありがとうございました。

追伸：葬儀の際、100歳のTさんは凛として喪主を務めていらっしゃいました。



△月◇日 みんなで牛久大仏へ行きました！！

バスハイクで牛久大仏へ行ってきました。

皆さん、巨大な大仏像におどろき、キレイに咲いた花やウサギや子ヤギとの触れ合いを楽しんでいました。

今回、特にうれしかったのは、引き籠りがちでほとんど外出されない方が参加してくれたことです。

しかもその後、スタッフの誘いに応じて虹の家に通ってきてくださるようになりました。

今回の様なイベントが利用者さんの気持ちを変えるきっかけになる事もあるのだと再認識しました。これからも、色々なイベントを企画していきたいと思えます。

△月〇日 反省しました

いつもは車でお迎えに行くAさん。天気がよかったので今日は徒歩でお迎えに行きました。

偶然、道端で近所のお友達と会い、井戸端会議が始まりました。その時、そのお友達が「いつも車で虹の家に行ってしまうので声掛けられないのよね」とおっしゃっていました。

その言葉を聞いたとき、私たちの支援が、このお二人の関係を壊すところだったと反省しました。

利用者さんと地域の皆さんの絆を守ることも私たちの役目です。

「誘いたいけど連絡が取りづらい」「あの人の予定はどうなっているのかしら？」など、利用者さんと連絡を取りたいときはどうぞ、お気軽に虹の家にご連絡してください。

よろしくお願いいたします。

<http://nijinoie.iinaa.net/>



虹の家の詳しい情報はインターネットでもご覧いただけます。検索エンジン(Yahoo など)にて「宅老所 虹の家」検索 でアクセスしてください。



虹の家ってどんなふうに利用できるの??



とても複雑な介護保険制度。とりわけ、虹の家のような「小規模多機能型居宅介護」は利用者さん一人ひとりの「これまでの暮らし」に寄り添うことを重視するため、具体的にどんな支援をしているのか、近くにお住まいの方でもわかりにくいことと思います。

そこで今回は、実際に「虹の家」を利用している方の中から、ほんの一部をご紹介します。

毎日、お昼前にお見えになって食事をされたら帰る方

自宅で気ままな独り暮らしを楽しみながら、毎日お昼前に、虹の家へ歩いて来て食事と皆様との会話を楽しんで帰って行きます。婦人会の集まりや、コーラスの練習といつも忙しそうなおくティブシニア。たまにご自宅へ訪問しても、ついつい、おしゃべりが長くなり、雑談だけで終わってしまうことも度々・・・

週に数日、朝から夕方まで過ごされ、食事や入浴をされる方

引き籠りがちになったことを心配したご家族からの相談で利用が始まりました。元気が戻ってきたとご家族もご本人も喜ばれています。

通いはせずに、週1回だけの訪問で掃除の支援を受けている方

「今は元気だから掃除だけでいいけど、一人暮らしで心細いから、弱ってきたらいろいろ世話をしてね」と笑いながらおっしゃっています。亡くなったご主人も虹の家を最後までご利用いただきました。週一回のリハビリ通院や、月に数回の買い物なども虹の家の支援で行っています。

週3日、朝と晩に安否確認のため訪問をする方

独居のお母様を心配したお子様からの相談で始まった訪問支援です。何うと「大丈夫だよ！」「ちゃんとやっているから！！」と元気な声を聞かせてくれます。虹の家の遠足に行くときには、いつもおしゃれな姿を見せてくれます。「いつもおくつろぎのところに邪魔してごめんなさい」(虹の家一同)

週3日の通いと、週3日の訪問で、1週間のサポートを受けている方

「あんまりお世話されてしまうと、一人暮らしができなくなりそうで心配なの」と言って日常生活を一人でこなすがんばり屋です。虹の家も、ご家族と連絡を取りながら、見守り続けています。

その他、独居の方の通院のサポートや体調不良時の緊急泊り、住宅改修の立ち合いなど、一人ひとりの生活能力や家庭環境に合わせて、自立した生活への様々な支援を行っています。
お気軽にご相談ください。☎04-7179-3133

※本文中に記した利用者さんのエピソードについては、虹の家の活動や立場についてご理解いただく目的で、ご本人やご家族の承諾を得られたものに限り、掲載させていただきました。